

れいわPRESS 第8号

れいわ新選組 所属議員、 魂の国会質問 (第5弾)

上村英明、大島九州男、木村英子、
くしぶち万里、さかくち直人、
佐原若子、高井たかし、たがや亮、
天島大輔、船後靖彦、
やはた愛、山本太郎

議員めし Vol.6
山川ひとし



れいわの議員が多すぎて
誰がどんな質問をしているのか
チェックするのが大変! というあなたに——。

魂の国会質問

れいわ新選組
所属議員たちの
第5弾

3月24日から4月4日まで

2025年1月24日に開会した通常国会より、れいわ新選組に所属する議員たちの注目の国会質疑を要約してピックアップ!
第5弾の今回は12項目の質疑を、写真と共に紹介します。

参議院議員 木村英子

2025年3月24日 参議院・厚生労働委員会

1

だれもが当たり前保障されているはずの参政権。
しかし、重度訪問介護などの制度を使って、障害者が選挙に行く場合、
“社会通念上適当でない外出を除く”という厚労省の告示の文言によって、
投票する権利が奪われている実態がある。
なぜ介護の必要な障害者は政治参加してはいけないのか?
このような外出制限をしている、厚労省の告示523号の撤廃を求めた!



私は、議員である前に障害当事者
なんです。その当事者の声を
国会に届けるためにここにいます。

きむら・えいこ

1965年生まれ。養護学校を卒業後、19歳で地域での自立生活を始める。全国公的介護保障要求者組合の書記長などを務め、長年にわたり仲間と共に障害者運動を行う。



動画はこちら

参議院議員 船後靖彦

2025年3月24日 参議院・文教科学委員会

25年度予算案のうち文部科学省所管部分の審議を行った、3月24日の文教科学委員会。子ども3人を扶養する世帯に大学授業料を無償化するという施策について、「せこいですね、ピントもズレてますね」とバツサリ。「年収が低いから子供が欲しくても持てない。低・中間所得層を手厚く支援し、子供がもう一人持てるようにすべき。財源不足を言い訳にせず、積極財政で所得制限を撤廃し、無償化を実現するべき」と訴えました。



せこいですね。
ピントもズレて
いらっしゃいますね。

ふなご・やすひこ

1957年生まれ。2019年にれいわ新選組から「特定枠」候補として立候補し、初当選。重度障がいのある人工呼吸器装着ALS患者として史上初の国会議員となる。詩歌や童話などの創作活動も行っている。



動画はこちら

参議院議員 天畠大輔

2025年3月24日 参議院・国土交通委員会

天畠初の国交委質疑。国交関係の欠格条項について質問。インスリン治療を要する糖尿病パイロットの諸外国の状況や乗務の可能性を探る調査を紹介。「当事者の声を聞く」との前向き答弁を引き出しました。一方、宅地建物取引士の資格申請で、成年後見を利用していないと証明する書類を提出させるのは差別だと痛烈に批判し、大臣は「運用上の工夫はしてみたい」と回答。障がいを理由とする相対的欠格条項は撤廃すべきと訴えました。

医学的な視点だけでなく、当事者ならではの視点も重要です。どうしたら安全に乗務できるかについて、海外で実際に適合されている、インスリン治療を要する糖尿病パイロットの声を集めてはどうでしょうか。

てんばた・だいすけ

1981年生まれ。14歳の時、医療ミスにより、四肢麻痺・視覚障がい・嚥下障がい・発話障がいを負い、重度の障がい者となり車椅子生活を余儀なくされる。2020年に一般社団法人わをんを立ち上げ、重度障がい当事者の支援活動を開始。



動画はこちら

衆議院議員 やはた^{あい}愛

2025年3月25日 衆議院・農林水産委員会

今こそ積極財政で農政大転換を！
今回の基本計画では様々な新しい取組が展開されていますが、
肝心の“今踏ん張ってくださっている生産者”への支援という目線が抜け落ちているのではないか？と
問題提起しました。新規就農者支援、地域計画、農福連携、いずれも政府による財政出動が必要です。
「防衛費ばかり増やすのではなく、国内農業の振興こそが本当の安全保障。」と、
命を守る予算確保の重要性について訴えました。

やはり災害というのはいつ来るか
分からないので、急速にその準備をしていく
ために、農林水産省としても予算の確保は
訴えていきたい。私もそれを同時に、
一緒に訴えていきたいと思っております。

やはた・あい

1987年兵庫県出身。グラビアアイドルや
タレント活動の他リポーターやラジオDJ
も務める。2020年よりれいわ新選組とし
ての活動を開始し2023年11月衆議院大
阪府第13区総支部長に就任。



動画はこちら

衆議院議員 さかぐち^{なおと}直人

2025年3月26日 衆議院・外務委員会

日本のODA（政府開発援助）の効率的運用に向けて、民間資金の活用を促す改正JICA法について、
被援助国の国民が真に求める支援をすることが、二国間の信頼を高め、
日本が信頼を得るプライスレスな価値につながるのではないかと問うた。
また、日本の平和外交の可能性を高めるという観点からも問いを發した。
軍事的なインフラなどに流用される可能性への懸念について質問し、岩屋外相から
「軍事的用途及び国際紛争助長への使用の回避の非軍事原則はJICAのインフラ事業にも適用される」
との回答を引き出した。

人道援助というのは
目の前の命を平等に扱ってこそ
意味があると思うんです。

さかぐち・なおと

1963年生まれ。2009年8月、衆議院議員
に初当選。れいわ新選組副幹事長。ボラン
ティア本部事務局長。



動画はこちら

衆議院議員 ^{うえ むら ひで あき} 上村英明

6

2025年3月26日 衆議院・内閣委員会

能動的サイバー防御第2弾、国際法、国際関係からの視点で政府に質問しました。
サイバー行動が戦争や紛争にならないように、最善の注意を払い、
信頼醸成措置や国家間の相互信頼関係の構築をするべきであるという指摘に対して、
政府は同盟国・同四国との協力の他「ASEANサイバーセキュリティ政策会議」で
東南アジア各国との協力体制構築中と回答。ASEANだけではなく、
いわゆる敵対国や途上国の情報通信能力の構築支援も含めて考えることが必要であると訴えました。



サイバー攻撃の99・4%が海外、海外からの通信情報のチェック、それから国境を越えたアクセスの無害化と、この法案は、ある意味では国際関係を律した領域だけです。その点現在のグローバル社会の中での公正な発展や平和の確立を求める動きに無関心な法案であってはいけないと思います。

うえむら・ひであき

1956年熊本県出身。アイヌ民族や琉球民族の先住民族としての国連活動を支援。社団法人新時代アジアピースアカデミー理事、人権NGO市民外交センター元代表



動画はこちら

参議院議員 ^{やま もと た ろう} 山本太郎

2025年3月27日 参議院・予算委員会

梅雨前に土砂撤去を行う必要性を強調！
国交省が調査した結果、豪雨で堆積した土砂は東京ドーム2杯分に相当し、
さらに大量の未撤去の土砂が残っていることを指摘しました。
災害NPOが土砂撤去を行っていますが、無償供与されている重機が3月末で返却されるため、
活動継続のための予算措置を訴えました。
石破総理は、「この重機が使えるように対処してまいります」と
総理が責任をもって行動することを約束しました。

県の方々、今総理がお約束くださいました。
この17台に関して、土砂撤去に関して
お力を貸してくれる、災害NPOの方々に
しっかりと重機を回していただけるように
総理が責任を持ってくださるそうです。



やまもと・たろう

1974年兵庫県宝塚市出身。れいわ新選組代表。2019年4月、独自で「れいわ新選組」を旗あげ。草の根による国政政党設立へのチャレンジを始める。



動画はこちら

8

衆議院議員 くしぶち万里

2025年4月1日 衆議院・本会議

なぜ、れいわ新選組は災害対策基本法の改正案に反対したのか？

「自助ばかり重視。共助を軽視、公助を切り詰めている」

「民間の力を借りるはずが、逆に命令を強化する」「災害NPOの救助活動に実費すら出ない」

「登録団体の役員に欠格条項がある」などが理由です。

積極財政で、被災者の生活再建まで国が責任を持つこと、災害NPOの人材を公務員的に雇用し、知見や経験を被災者支援に生かすことが必要です。れいわ新選組は『防災省』の設置を求めます。

被災者の人権も憲法も
守られていない。
総理も大臣も、自民党政治の
結果という自覚がありますか？



動画はこちら

くしぶち・まり

1967年群馬県沼田市出身。れいわ新選組共同代表、東京都第14区総支部長（墨田区・江戸川区北部）。元国際協力NGOピースポート共同代表・事務局長。



参議院議員 大島九州男

2025年4月3日 参議院・内閣委員会

風営法や関連する法律の抜け穴をどう防ぐか、また、悪質な売春やぼったくり行為を取り締まるための対策について議論しました。特に、SNSを使った客引きや、風俗業界でのスカウト行為の規制についても言及。実態としての問題が法制度にどれだけ反映されているか、また新しい手段（SNSなど）に対してどう取り組むかという点に焦点を当てて質問をしました。

一方で、政府参考人は、実際に取り締まりを強化していることや、法律が改正されたことに触れつつ、抜け道や新たな手法を防ぐための議論がなされていると説明。しかし、完全に防止するのは難しく、今後も継続的な捜査と法改正が必要だという立場を示しています。これらの議論は、特に風俗業界での悪質な行為を減少させるために重要であり、法整備とその運用の改善が求められていると訴えました。

大臣には、悪いことをするやつは
全部ひっ捕まえる、というくらいの
発信をしていく決意を
語っていただきたいと思います。



おおしま・くすお

1961年生まれ。福岡県出身。平成3年より連続3期、直方市市議会議員を務めた。

動画はこちら



衆議院議員 たがや^{りょう}亮

10

2025年4月3日 衆議院・消費者問題に関する特別委員会

不正行為等を通報した従業員等を保護する法律
「公益通報者保護法」について質問しました。

政治や行政への信頼を回復するため、この法律の対象に、
国家公務員法、地方公務員法、公職選挙法、政治資金規正法を加えるべきと質問し、
伊東大臣より「事と場合によっては、これはやはり公益通報者保護法の範疇の中で検討されるべき」と、
今後の検討の可能性を示唆する答弁を得ました。



政治は生活であり、政治、行政はまさに
消費者の利益に資すると言えます。
政治、行政への信用、信頼は重要です。
まずは政治家や公務員が
襟を正すべきではないでしょうか。

たがや・りょう

1968年生まれ。れいわ新選組副代表。衆議院千葉県第11区総支部長。大学二年生より飲食店を起業。現在まで話題店を都内に多数プロデュース。



動画はこちら

衆議院議員 さわら^{わかこ}若子

11

2025年4月4日 衆議院・経済産業委員会

ラピダス社支援に関して質しました。

血税を投じるのだから事業計画をしっかりとて、いつどのくらい収益が上がり、
そもそもの投資者である国民にどう還元するのか？

具体的な計画がないと失敗するのではないかな？それは国の責任ではないかな？
未だ曖昧なプランしかないことが分かりました。また地域の環境問題への責任の甘さ、
電力需要増大を理由にした原発依存の方針は問題、地元への裏切りだと訴えました。

ラピダスの工場のために原発を
使うということは、
道民への裏切りだと思います。
道民の健康と安全を守ってください。
皆様の血税が投入されているんです。



さわら・わかこ

1953年青森県五所川原市出身。歯科医師。現在小嶋歯科レーザー・インプラントセンター室長。2024年れいわ新選組東北ブロック比例候補として出馬、当選。



動画はこちら

前日にアメリカのトランプ政権が相互関税の発表を行ったことを受け、国内産業および国民生活を守るために、れいわ新選組がこれまで訴えてきた消費税廃止、少なくとも減税、現金給付、そして中小零細企業に対する支援といった経済対策を早期に実行するように主張しました。さらに、ハイパーインフレが起こりえない現状において、政府は財政再建よりも経済再生に軸足を置くべきであるとも訴えました。

世界で一か国もやっていない、水増しした国債償還費という17兆円ものお金をあえて見せかけて計上するというのは、国民をだます、ミスリードすることだと思います。



動画はこちら

たかい・たかし

1969年北海道函館市出身。れいわ新選組幹事長。通算国会質問回数は225回。法案提出数は119本。国会質疑衆議院議員1位。



れいわ新選組
HPはこちら



れいわオーナーズ
ご案内はこちら

あなたが、れいわ新選組のオーナーになりませんか？



ご寄附の受付

れいわ新選組は、皆さまからの寄附をお願いしております。頂きましたご寄附は、れいわ新選組が取り組んでいる政治活動、事務所運営費等に活用させていただきます。

れいわPRESS 第8号



発行・れいわ新選組 れいわPress編集部
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-5-20 押田ビル4階
TEL:03-6384-1974

れいわ新選組議員の推しグルメを紹介！

腹が、減った…

議員めし

Vol.6 ^{やまかわひとし} 山川仁
うちな一料理

はいさい。国対、議運、総務委員会と慌ただしく昼食も早メシが多くゆっくりと食事が採れていません。そんな中、週末に地元、沖縄に帰った時は、行き付けの食堂で「てびち&とうふンブサー」を食べることができたら幸せです。ソウルフードの沖縄そば、この時期のゴーヤチャンプルーも苦みが旨味になって最高です。沖縄にお越しの際は、ぜひ「うちな一料理」もお楽しみください。いっぺーまーさいびんどー。